

提供日 2019/9/9(月)  
タイトル 前立腺肥大に対する新しい治療選択  
担当 県立総合病院 総務課  
連絡先 県立総合病院 総務課  
TEL 054-247-6111(代)



～ともしつくる 信頼と安心の医療～

## 前立腺肥大に対する新しい治療選択

### 1 要旨

高齢者に多く見られ、生活に支障を来す前立腺肥大症による排尿障害に対して、CVP（＝接触式前立腺レーザー蒸散術）という新しい低侵襲の治療を開始し、成果を上げていきます。この新しい治療は、静岡県中部地区初（県内で2番目）となります。

※CVPとは、Contact laser Vaporization of the Prostate の略

### 2 前立腺肥大症について

前立腺肥大症とは、前立腺が肥大して様々な排尿の症状を引き起こす病気です。

前立腺が肥大する原因は完全にはわかっていませんが、男性ホルモンなどの性ホルモン環境の変化が関与すると言われています。

前立腺肥大症の頻度は、年齢とともに多くなり、50歳から頻度が増加します。組織学的な前立腺肥大は、30歳代から始まり、50歳で30%、60歳で60%、70歳で80%、80歳では90%に見られますが、そのすべての方が治療を必要とする症状を伴うわけではありません。前立腺の肥大と排尿症状を伴い、治療を必要とする、いわゆる前立腺肥大症の頻度は、その1/4程度と言われています。

現在の主な外科的治療：経尿道的前立腺切除術

(TUR-P: Transurethral Resection of Prostate)

尿道から内視鏡を挿入し、内視鏡の先端に装着した切除ループに電流を流し（電気メスと同じ）、肥大した前立腺を尿道側から切除する方法です。前立腺肥大症に対する最も標準的で、広く行われている方法です。

### 3 今回の新しい治療について

接触式前立腺レーザー蒸散術とは、前立腺組織にファイバーを接触させてレーザー光を照射することで、前立腺組織に高熱を与え、組織中の水分や血液を一瞬で沸点に到達させて蒸発させ、組織を気化して消失させてしまう最新で低侵襲の手術方法です。

出血がほとんどないため、抗凝固薬や抗血栓薬を服用したままで手術を受けることができます。また、術後の出血や痛みが少なく早期社会復帰が可能です。

当院では現在、おおよそ10件の治療を行っています。

#### (問合せ先)

静岡県立総合病院 総務課 静岡市葵区北安東4-27-1  
電話：054-247-6111 (代)